

伊藤花りんさんのサンドアートパフォーマンスに当社輸入珪砂が使われました

2018年8月25日(土)



音楽に合わせて
描かれる
魔法のような
砂の絵画

タワーホール船堀
オリジナルコンサート

伊藤花りん
サンドアート
パフォーマンスコンサート

平成30年 **8月25日** 開場 14:30
開演 15:00
タワーホール船堀 (小ホール 5階)
全席指定 / 一般 2,500円(税込)・ペア 4,000円(税込)

江戸川区
先行販売 平成30年4月21日(土) 100席限定
1090090より 電話受付 03-5676-2211

■タワーホール船堀
〒460より 全席観客席にて
19:00より 電話受付 03-5676-2211
●ホームページ <http://www.towerhall.jp>
■チケットぴあ (Pコード: 112-329)
19:00より 電話受付 0570-02-9999
●ホームページ <http://t.pia.jp>

第1部
米山 典昭 (ギター) 小川 紀美代 (ピアノ)

第2部
227 広田 圭美 (ピアノ) 山下 由紀子 (パーカッション)

注意事項 ●車椅子席・介助者席は、タワーホール船堀窓口・お電話での販売です。
主催：江戸川区 / タワーホール船堀指定管理者アターブル松屋 企画制作：サンドアートパフォーマンス伊藤花りん

お申し込み
お問合せ 都立新船堀船堀駅北口徒歩1分
地上115m展望が自慢 **タワーホール船堀 03-5676-2211**

サンドアーティスト・伊藤 花りんさんのサンドアート パフォーマンスコンサートがタワーホール船堀(東京都江戸川区)で開催されました。キャンバスであるガラス面に砂がまかれ、バックライトによって照らし出された砂絵を頭上に設置されたカメラによって会場の大画面に映し出し、アーティストが描き出す物語をライブ体感できます。音楽に合わせて次々と形を変えていく砂絵はとても幻想的であり、視覚と聴覚からどんどん引き込まれていくようです。

今回、そのサンドアートの砂に弊社の天然珪砂が採用されました。弊社の天然珪砂は、主に鋳物やガラス等の工業用に使用されていますが、近年はビーチスポーツや馬場、ゴルフ場等からの引き合いも多く、様々な用途での可能性が広がっています。

以下にコンサートに行ってきた弊社社員のレポートを掲載しますので、ご一読下さい。

【コンサートレポート】

先日東京で行われた伊藤花りんさんのライブを見てきた。

満員のファンはこれから始まる作品について話し合っている。

ステージにはグランドピアノ・パーカッションが並び、正面のスクリーンには出迎えのアートが映っている。おそらくガラスの下からライトで照らし、ガラス上に描かれた作品をカメラでスクリーンに送るというセットアップだろう。

ギターの男性とバンドネオン(アコーディオンに似た音色の楽器)を抱いた女性が登場し、インストゥルメンタルで「ゆりかご」を演奏、「ジュピター」のメロディに乗ってサンドアーティストの伊藤花りんさんが登場する。

画面は見る見るうちに変化し、誰もが知っている「浦島太郎」の物語が描かれる。ラストは玉手箱の登場となり、凛々しい男性が老人に！

絵本にはない驚きがある。

二部構成のステージの後半は、ピアノとパーカッションの演奏に乗って曲に合わせたアートが展開され、核実験が行われたというクリスマス島を舞台にした曲とアートの合奏が、この日のメインだったと思う。

きのこ雲らしきものが太陽に変わり、殺伐とした砂漠に草木が育ち、花が咲き、最後は海亀と魚が向かい合って笑顔で終わる温かい作品だった。

音楽と砂による絵画の美しさを、言葉で伝えるのは難しすぎる。

みなさん、ぜひ伊藤花りんさんのホームページ <https://karinitotheater.com/>にアクセスしてみてください。

きっと驚くはずです。

【伊藤 花りん〈サンドアーティスト〉 プロフィール】

北海道出身。幼少期からバレエの経験を生かした楽曲に合わせた ライブパフォーマンスを得意として各地で公演を行っている。

林原めぐみ・ディズニーオンクラシックなど様々なアーティストとライブでのコラボを展開。

また、秋篠宮殿下と紀子様の前でサンドパフォーマンスを披露している。

映像分野では東方神起などのアーティストのMVを製作。

近年では道尾秀介著「風神の手」装丁画を始め雑誌や絵本への挿絵画などのイラストの仕事も手がけている。

■ 伊藤 花りん 公式ホームページ <https://karinitotheater.com/>

